

土浦地区セーフティ・マイタウン・チーム（茨城県）

活動地域と団体の概要

私たちは茨城県土浦警察署管内のボランティア団体「土浦地区セーフティ・マイタウン・チーム」です。私はリーダーの立野です。

私たち防犯パトロール隊の愛称は「青の騎士団」。西洋の中世、青い衣装で馬に乗り、戦闘する集団ブルーナイト。恰好よかったので私たちの愛称にいただきました。これを目標に進んでおります。

私たちのチームは、平成15年2月に50名で発足致しました。平成18年市町村合併があり、警察署も管轄区域が変更されました。かすみがうら市と土浦市が管轄区となり、今に至っております。平成20年8月、いろいろ努力しまして18台の車両による青色防犯パトロールを開始することができました。大きなステップでした。その後、土浦警察署生活安全課と情報交換を重ね、平成21年11月より、小・中学校の防犯教室に協力することができるようになりました。現在メンバーは47名、青パト車は46台と急増しています

メンバーは土浦市とかすみがうら市を合わせて47名、これを5班に分け活動しています。平均年齢は67歳です。男性ばかりで、全員が青パト実施者証、違反広告物除却の資格を持ち、各市の防犯連絡員です。



チーム概要

- 平成15年2月、土浦市、阿見町、霞ヶ浦町、新治村のボランティア50名(定員50名)で発足しました。
- 平成18年3月、市町村合併や牛久警察署の新設による管轄区域変更に伴って阿見町のメンバーが離脱し、新治村が土浦市に編入され、新たにかすみがうら市(旧千代田町)のメンバーが加入しました。
- 平成20年8月、青色防犯パトロール団体としての認定を受け、18台の自車両による青色防犯パトロールを開始しました。
- 平成21年11月より警察署による小・中学校の防犯教室に協力。本年春までに40回を数えました。
- 平成25年5月、発足10年目、現在47名(土浦市32名、かすみがうら市15名)、青色防犯パトロール車46台で活動中です。

メンバー構成

- 現在は、土浦市30名とかすみがうら市17名の47名が地区別の5班体制にて活動中。
- 年齢は、43歳から82歳(平均67歳)。高齢・体調等により入れ替わりが多い。
- 数名の女性が在籍した時期もあったが、現在は、男性のみ。
- 職種は、会社員や自営業、農業、消防団員、元公務員(教員・消防職員・自衛隊員)等さまざま。定年退職された方達も多い。
- 全隊員が青色防犯パトロールや違反広告物除却を行う資格を持ち、それぞれの市の防犯連絡員です。

活動の概要～青色防犯パトロール

活動内容は、①「青の騎士団」による青色防犯パトロール②小・中学校での防犯教室参加③振り込め詐欺被害防止活動④自転車盗・車上ねらい被害防止活動⑤違反広告物除却活動⑥各種防犯キャンペーンの参加・協力などです。

「青の騎士団」による青色防犯パトロールは、マグネットで脱着できる青色回転灯を車に載せて活動します。平成20年から18台で運用を始め、現在は46台まで増えました。車種は軽から商用車、乗用車と様々です。青色回転灯などの主装備は、チームで用意していますが、燃料などの経費は、「ボランティア活動のために頑張らしましょう」という皆さんの好意に頼っている次第です。

その活動風景の写真です。キャンペーンでは車列走行で人目を引き、防犯効果に一役買っています。この活動のデータを見ると、チーム平均で1人1回当たりの走行時間は1時間23分、走行距離は16.3キロでした。こういう活動を積み重ねています。

下の写真のような団体名入りのマグネットステッカー、両側ドアに貼る大きなマグネットステッカー、後部窓内に掲示する県警の標章、これらを車に掲示しながら走行しております。

青パト車を導入したことで、「見せる効果」視覚的効果が高まります。いつでも、効率よく、パトロールでき、不審者情報や行方不明者に呼応しての、タイムリーな緊急警戒走行ができるようになりました。思わぬ効果ですが、メンバーの安全運転技術も向上しました。



平成23年度年間活動データ (17台分) 3/5

	回数	時間	走行距離	燃料代
平均	84回	86時間	1,358Km	20,370円
合計	1,431回	1,467時間	23,094Km	346,410円

<燃料代は、1リットルあたり10km、150円で計算>

- ★チーム平均は、1回あたり1時間23分、16.3Kmの活動でした。
- ★メンバーによって、年間合計21～338時間、350～7,343Kmと開きがありました。

青パト車導入効果

4/5

- キャンペーンや行事参加時も、青パト車を多数配置して「見せる活動」をすることで、これまでにない視覚的効果があります。
- 活動場所への集合や離散する間も効率よくパトロール活動が可能です。
- 公用青パトに比べ、予約や引取り・返却の手間が無く、夜間や緊急時にタイムリーな運行ができて効率的です。
- 模範的な走行を求められるため、メンバーの安全運転技術(?)が向上しました。

活動の概要～さまざまな防犯活動



次は小・中学校での防犯教室への参加です。小・中学校での防犯教室は土浦署員とともに、これまで40校以上、参加させていただきました。防犯教室では、「不審者役の手引き」を作り、不審者役を演じています。青パトの展示や青パトを活用した下校指導なども行っています。こうした取り組みを地域ぐるみで進めていきたいと訴えております。



平成23年2月から、多発する振り込み詐欺を防ぐために年金支給日の午後、管内の金融機関に対しての巡回警戒を実施しています。

「イカのおすし」という標語看板を使っでの防犯講話、学校に不審者が侵入し子供たちが逃げる訓練、下校時に子供たちに声を掛ける訓練、青色回転灯車両の見学、中学生の自転車訓練などをさせてもらっています。

続いて、振り込み詐欺被害防止活動です。

「オレ、オレだよ」という例の電話から始まる手口はどんどん変化しているようです。平成23年2月から、年金支給日に、このように金融機関を回っております。場合によっては、行員さんと一緒にティッシュを配らせていただいたりしています。



駅前などの駐輪場で、防犯登録の有無や施錠の確認をし、注意を喚起するチェックシートを貼り付けています。

続きまして、自転車盗・車上ねらい被害防止活動。これは、万引きなどとともに、青少年の犯罪への入口になりかねないということで、重要視しています。写真のように、駅前駐輪場、大型店舗の駐輪場などで「二輪車防犯診断票」というチェックシートを自転車に貼り付けて診断しています。左下は、これは高校野球の試合会場で高校生とともに活動しました。以前は随分被害があったそうですが、このときはゼロでした。我々は大変やる気が出ました。



犯罪抑止のため、主に風俗関連の広告物を除却しています。近年、その枚数が大幅に減少してきました。

次は違反広告物除却活動です。風俗関係の広告物などが路面にこれだけあるのです。糊付けされたものがあって非常に苦勞しております。

地域の環境美化、犯罪活動の抑止のために、市が施設者と除却協定を結び、市が発行した証明書を携帯して除去しています。その推移ですが、19年が最初で1700枚前後。これが次の年に4分の1ぐらいに減りまして今は100枚前後です。地道な活動の成果だと思っております。

各種防犯キャンペーンにも参加・協力しています。「地域安全運動キャンペーン」「110番の日キャンペーン」「安全安心まちづくりパレード」などに参加しています。普通なら防犯啓発品を配布したり、パレードしたりで終わりますが、私どもはここでも青パトを活用させていただいております。

これら以外の活動ですが、ひとつは事案発生地点に「防犯のぼり旗」を掲揚し、重点パトロールを実施しています。メンバー個々も防犯パトロールをしています。またメンバー用メール同報システムで、警察から行方不明者や不審者情報を得て、緊急警戒パトロールなどに生かしています。その他、メンバー間のための同報システムも用意しつつあります。最後に、多発罪種に注意を喚起するマグネットステッカーを車に貼ってPRしたりしています。

以上のような内容で、黙々と実施しております。私たちのホームページもありますので、よろしければご覧ください。ご清聴ありがとうございました。



⑦その他の活動

- 事案発生地点に「防犯のぼり旗」を掲揚し、重点パトロールを実施。
- メンバー個々による防犯パトロール。
- ☆メンバー用メール同報システムにより警察署から行方不明者や不審者情報を得ての緊急警戒パトロール。〈他にメンバー間の同報システムあり〉
- ☆多発罪種に注意を喚起する青パト後部マグネット看板の作成。

質疑応答

●質問 青色パトロール46台ということで、素晴らしいなと思いますが、音声案内は、例えばエンドレステープを使うとか、何かされているのでしょうか？

○回答 私どもの車は、費用をなるべくかけないということで、マイク、スピーカーは積んでおりません。これを積むと費用も多大に発生するらしいので残念ながら、今はあきらめております。市の青パト車には設備が付いていて、テープも作ってあります。すぐ利用して声掛けもしてみたいが、残念ながらできていない状況です。